

平成24年度  
実施事業

事務事業名 青少年育成指導経費

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	3	青少年が健やかに地域で育つ環境づくり
小分類	1	地域との連携による青少年の健全育成
主要な施策	1	①青少年の健全育成
事務事業番号	003	事業開始年度 昭和 37 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	社会教育グループ
-----	-----	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	青少年非行の未然防止を図り、青少年が健やかに育つ環境を構築するとともに、登別市の担い手として模範となる青少年の健全育成を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	○青少年センターによる巡回活動実績 ・通常巡回 回数796回(延べ) 指導人数98名(延べ) ・祭典指導巡回(豊水まつり巡回2日、幌別地区手づくり祭り2日) 回数60回(延べ) 指導人数0名(延べ) ・その他(夏休み、歳末、不審者出没時等) 回数30回(延べ) 指導人数3名(延べ) ○こども110番の家の拡充 ○青少年問題協議会の開催 開催回数1回 ※本事業の実施に係る人件費(給与費支出分) 嘱託員給与:4,130千円(財源:市4,130千円)
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	青少年非行の未然防止を図り、青少年が健やかに育つ環境を構築するとともに、模範となる青少年の健全育成を図るため、本年度も引き続きこども110番の家や街頭指導活動などを実施する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	地方青少年問題協議会法、登別市青少年問題協議会設置条例、同施行規則、登別市青少年指導センター設置要綱(H25年度改正予定)

事業費(財源内訳)の推移

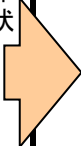
《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	468	539	926	926	926
事業費合計			468	539	926	926	926

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	① 巡回指導者人数	人	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
			実績値	1,818	1,484			
	②	目標値						
		実績値						

比較		《 Check 》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>専任指導員や指導委員による、巡回活動を実施。</li> <li>青少年問題協議会においては、平成25年度青少年センターの活動計画の策定、青少年をとりまく現状課題の共有を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年を取り巻く状況は年々変化しており、青少年センターの活動についても毎年精査することが必要である。</li> </ul>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《 Check 》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="checkbox"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="checkbox"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="checkbox"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及びその他所見 こども110番の家や街頭指導活動など、行政でなければできないことも多いため市が事業として進めるのが妥当である。
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="checkbox"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="checkbox"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及びその他所見 巡回活動や健全育成活動への理解・協力を得られ易くなってきたことや、多発する不審者の出没の抑止のため必要性が高い。
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="checkbox"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="checkbox"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="checkbox"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	判断理由及びその他所見 支出について、現段階で必要最低限にとどめており、巡回範囲や回数などについて現状の活動を維持したままのコストダウンは難しい。
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="checkbox"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="checkbox"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="checkbox"/> ④ 成果の把握は困難である	判断理由及びその他所見 街頭指導活動を行い青少年非行の未然防止、早期発見に努めた他、会議を開催し、関係団体との情報共有を図った。

①担当グループによる評価 《 Check 》

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	子どもたちを健やかに育てていくことは大人に課せられた責務であること、また、北海道青少年保護育成条例の改正により行政・家庭・住民の役割が明確文化されたことを踏まえ、その役割や行政でなければできないことに取り組んでいく必要があると考える。
-----------	----------------------	---

②行政評価会議による評価 《 Check 》

<b>維持</b>	備考	
-----------	----	--